



病児保育たより

令和5年4月 第1号



雪解けと一緒に、新たな生活が始まりました。入園・入学おめでとうございます。

<<病児保育とは??>>

病気の時は、普段通っている保育園や学校に行くことが出来ません。そんな時、保護者に代わってお子さんの保育と看護を行なう施設です。病児保育室では、看護師・保育士が、安全で安心できる療養環境と保育看護を提供致します。

<<令和4年度利用者数>>

平成～令和へ移ったこの時期新型コロナウイルス感染症や、濃厚接触者扱い、感染予防のために微熱であっても預かりを規制せざるを得なかったりと利用者が減少しました。又誘因の一つとして、企業様の配慮もあり自宅で療養できるような環境を作ってもらいました。

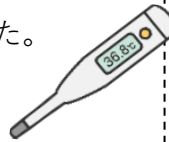
令和3年度 = 82名

令和4年度 = 80名

<<マスク着用の考え方の見直しについて>>

山形県では、令和5年3月13日からマスク着用の考え方について次のとおり見直すことを決定しました。

- ・マスク着用は個人の判断が基本となります。
本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、主体的な判断を尊重されるよう、配慮をお願いします。
- ・ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面にも留意します。(効果的な場面とは、例えば医療機関への受診時、医療機関や高齢者施設等への訪問時、混雑した電車やバスへの乗車時等です。)
- ・基本的な感染防止対策(手洗い・消毒・換気・密を避ける等)



<<新学期は体調を崩しやすい時期>>

環境の急激な変化は、ストレス要因となり、ことに環境や携わる人が代わる事多い新学期は、気づかぬうちに疲労やストレスがたまりがち。子どもの中には変化に弱かったり、ストレスをうまく発散できず、どんどんため込んで辛くなってしまいうちの子もいます。そうなる前に、子どもの心のsosサインを察知し、ストレス発散を促すことが大切です。対処としては、生活に慣れるまで、ゆっくり話しあったり、スキンシップをとったり、ゆっくり散歩するなど意識的に時間を持ちましょう。又体力が落ちている時は、感染しやすくなっているので人混みは要注意になりますね。

主な症状として

- ・発熱・腹痛・嘔吐、気持ち悪さを感じる時が多い
 - ・元気がない・食欲がない
 - ・ちょっとしたことで癇癪を起こしたり、反抗したりすることが増えた 等等・・・
- また、春は天気が変わりやすく大きな寒暖差が短い周期で訪れるため、体調を崩しやすい時期であることも体に負担をかける一因となっています。



令和5年度病児利用登録申込受付中(年度ごとの登録となります) NPO法人オープンハウスこんぺいとうHPからも情報が得られ、必要書類をダウンロードできます。

発行 NPO法人オープンハウスこんぺいとう
病児室

22-5378 (電話対応 8:30~17:00)